

## 第7回通常総会の開催

と き 平成15年2月25日（火）

ところ 「白兔会館」飛翔東の間

平成15年度通常総会が、会員96名出席のもとに開催されました。

石黒豊理事長のあいさつの後、「森の名手・名人100人」として、社団法人国土緑化推進機構理事長より全国から100名認定され、本県から選ばれた3名の方へ認定書の伝達がありました。

会員の中より議長に川下全功氏を選出し、平成14年度事業報告及び収支決算・平成15年度事業計画（案）及び収支予算（案）並びに役員の選任について審議され、原案どおり可決承認されました。



## 平成15年度 緑の募金運動

### 募金運動期間

春期 平成15年3月24日(月)～5月31日(土)

秋期 平成15年9月1日(月)～10月31日(金)

募金の目標額 2,800万円

「環境の世紀」と言われる21世紀を迎え、森林が地球温暖化防止の上で大きな役割をしていることが改めて認識されています。

この大切な緑の森林を「守り・育てる」ため「明るく豊かな未来」のあるふるさとづくりに参加しましょう。



### 皆様の温かい御協力をお願いします

春の募金運動期間の初日には、石黒理事長、鳥取市長、米子市長、日野川の源流と流域を守る会長、みどりの少年団、鳥取県連合婦人会長、森っ子倶楽部会長などの皆様の協力をいただき、鳥取・米子駅前で通勤・通学途中の皆様にも募金への協力を呼びかけ広報活動を実施しました。



## 平成14年度 緑の募金結果

### 1 募金の目標と実績

区 分		平成14年度	平成13年度	伸び率
目 標 額		31,000,000円	31,000,000円	100.0%
実 績	春 期	25,394,243円	26,352,852円	96.4%
	秋 期	1,316,753円	1,577,432円	83.5%
	計	26,710,996円	27,930,284円	95.6%
達 成 率		86.2%	90.1%	

### 2 募金の内訳

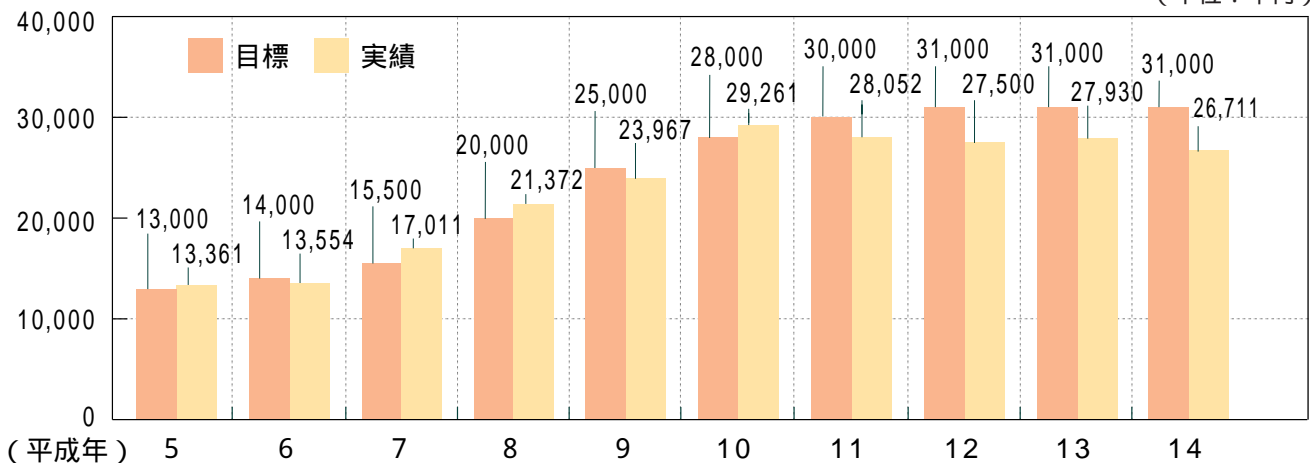
区 分	平成14年度				平成13年度		伸び率
	春 期(千円)	秋 期(千円)	計⑧(千円)	比率(%)	金額 ⑦(千円)	比率(%)	
街 頭	732	3	735	2.7	920	3.3	79.9
学 校	2,066	21	2,087	7.8	2,549	9.1	81.9
家 庭	17,159	60	17,219	64.5	16,736	59.9	102.9
企 業	1,715	82	1,797	6.7	1,856	6.7	96.8
職 場	2,824	83	2,907	10.9	3,722	13.3	78.1
その他	898	1,068	1,966	7.4	2,147	7.7	91.6
計	25,394	1,317	26,711	100.0	27,930	100.0	95.6

### 3 緑の募金実績概要

収入の内容	金額(千円)	摘 要	支出の内容	金額(千円)	摘 要
緑 の 募 金	26,711	緑の募金	森 林 整 備	19,854	緑化事業費
そ の 他	1,606	前年度繰越	募 金 資 材	2,528	募金資材費
			広 報 活 動	1,464	募金広報活動費
			支 部 活 動	1,500	地方・市町村支部
			中 央 負 担 金	1,307	国土緑推負担金
			そ の 他	1,664	次年度繰越
計	28,317		計	28,317	

### 4 緑の募金年度別推移

(単位: 千円)





## 緑の募金

皆様の善意によって寄せられた「緑の募金」は、緑豊かな潤いのある森林・緑づくりに活用されています。

- ・森林の整備  
水源林の保全・整備、下刈り・間伐等森林の育成
- ・緑化の推進  
地域の緑化、青少年の緑化活動、緑化の普及啓発等

## 事業紹介 各地で活躍するボランティアグループ

### 女性の森グループによる.....

女性の森グループ代表 井関 伸子

#### ふるさとに 白砂青松の海岸林を

3月2日、鳥取市伏野海岸に抵抗性クロマツ400本を植樹しました。当日は「女性の森」グループ、林業振興協議会、県・市関係者の他に、初めて公募で参加して下さった方々など150名が一緒になって汗を流しました。



鳥取に住む私たちは、子どもの時から、海岸の美しいマツ林を、あたり前の様に眺めながら暮してきました。しかし行政の対策にもかかわらず、近年松枯れが増えるのを見て胸が痛む思いをしていました。

この度、マツ林が景観形成だけでなく、私たちの生活に重要な役割を果たしていることを知り、「女性の森」グループの活動としてマツ林再生に取り組みました。

多数の子どもさんが参加して下さいました。海岸林に緑よみがえれ！大きく育ってね！と一人一人が大きな願いをこめて、抵抗性クロマツの苗を丁寧に植えました。

### 高城協議会（高城青少年の森整備事業）



今年の3月9日（日）倉吉市上福田（倉吉市のほぼ中央）で「市内の青少年がいつでも森林体験学習のできる森の造成」をめざし、地元の高城地区振興協議会の呼びかけによって、倉吉市内の親子153組が、手作りの樹名板づくりや植樹を楽しく行いました。

この森は、花の咲く広場、どんぐり広場、実のなる木広場の3つの広場からなっており、花の咲く広場にはサクラやツバキなど、どんぐり広場はクヌギやコナラなど、実のなる広場にはイチヨウやウメなど総勢54種、112本の樹木を植栽しました。



今後、地元のボランティアで管理されるこの森は青少年の樹木観察、野鳥観察など体験学習の場として広く活用される予定です。

## 賀露自治会と若桜町の交流

“美しい海づくりは源流から”という呼びかけで平成12年、若桜町の氷ノ山に「賀露みなと21世紀の森」を作ったのをきっかけに千代川支流の八東川源流で若桜町と河口の賀露町との交流がはじまりました。

3年目を迎えた今年は賀露自治会が主催となり、賀露小学校みどりの少年団、賀露町民あわせて91名がバス2台で氷ノ山に出かけ若桜町の若桜・池田小学校みどりの少年団、保護者が参加し、草でおおわれた「賀露みなと21世紀の森」の下草刈りをしました。例年にくらべて草がよくのびていましたが、皆の力でみるみるきれいになり、植えた木が姿を見せ、日当たり良好となりました。

お昼は中国山地の山並みが見わたせる眺めのいいテラスでカレーライスを腹いっぱい食べ午後からの散策にそなえました。

午後からは6グループに分かれ、森林の中を1時間あまり歩き解説の方に氷ノ山の木や草などの話を聞き、森林のはたらきの重要性、山と海とのつながりを学習しました。

スキー場から一步入ったところなのに大きなブナの木がたくさんあり、氷ノ山の山の深さと歴史を感じました。その後説明を聞いた木や草の名前あてクイズをして学習の復習をしながら楽しみました。

### 森林教室に参加して

4年生の娘の行ってみたいという言葉に初めて参加してみました。カマで草をかるということが初めてだった娘に若桜の方々が親切に教えてくださいました。よいお天気の中でのカレーライスもとてもおいしくいただきました。

お昼からの山の中の散策もいろいろな草花を見て海辺にくだす私たちにはとても新鮮でした。疲れたけれど、とても充実した楽しい1日でした。ありがとうございました。

K.A



## 事務局便り

### 「森の名手・名人100人」の認定

森や山に関わる伝統技術やすぐれた技をきわめ、他の技術・機能者・生活者たちの模範となっている達人を「森の名手・名人」として、社団法人国土緑化推進機構理事長より全国から100名の方が認定され、本県から選ばれた次の方に総会の席で理事長より認定書の伝達が行われました。

八東町奥野 坂根 晴己 伐 採  
船岡町下野 林 和里 炭焼き・炭窯づくり  
智頭町智頭 梶川みづほ 草木染め



坂根 晴己 氏



林 和里 氏



梶川みづほ 氏

## 平成15年 国土緑化運動・育樹運動

### ポスター原画コンクール

県内出品点数 125点 中央審査応募数 6点

このコンクールは、昭和25年に戦後の国土緑化運動の一環として、全国植樹祭、緑の羽根募金運動とともに始まり、今年で53回を数えることとなりました。

今回は全国より57,428点の作品が寄せられ、各都道府県より推薦のあった418点を対象に、中央審査会において審査され44点が入選し、このうち2点をそれぞれ国土緑化運動ポスター、育樹運動ポスターとして全国に配布されます。

本県より、6点応募したところ、米子市立福米東小学校1年の中村優希さんの作品が「国土緑化推進機構理事長賞」を受賞されました。



県内入選者は次のとおりです

区 分	学 校 名	学 年	氏 名
小 学 校 の 部	鳥取県知事賞	福米東小学校	1 中 村 優 希
	鳥取県教育長賞	福米東小学校	1 藤 本 隆 聖
	緑化推進委員会理事長賞	福部小学校	3 谷 本 弥
	佳 作	溝口小学校	5 木 島 由 稀
		溝口小学校	2 竹 中 ひ ろ あ
		羽合西小学校	6 中 川 翔
中 学 校 の 部	鳥取県知事賞	気高中学校	2 富 川 千 秋
	鳥取県教育長賞	岸本中学校	1 湯 原 瑞 規
	緑化推進委員会理事長賞	箕蚊屋中学校	1 松 本 沙 季
	佳 作	岸本中学校	1 山 下 真 奈
		気高中学校	3 寺 谷 圭 代
		高草中学校	2 坂 本 彩 菜

### 平成16年用国土緑化運動・育樹運動標語募集 !!

国土緑化運動の一環として、植樹及び森林・樹木の保護・育樹の普及啓発に関するポスターに使用する標語を募集します。

**標語の内容** ・簡潔で語調がよく、国土緑化の意を表し、植樹及び森林・樹木の保護・育成または環境緑化意欲の高揚を強調したものであること。  
・創作に限ること。

**締め切り** 平成15年8月末日

**そ の 他** ・入賞作品の著作権は国土緑化推進機構に帰属します。  
・国土緑化運動及び育樹運動ポスターに使用する作品については、必要に応じ一部修正を加えることがあります。

**応 募 先** (社)鳥取県緑化推進委員会

#### 会員募集

(社)鳥取県緑化推進委員会では、自然環境を守り、地球温暖化の防止のため、緑豊かなよりよい地域緑化をめざし森林づくりや、身近なみどりづくりに努めています。

会員への加入をよろしくお願いします。

個人、法人、企業 会費1口1万円より